



## クラブ会長の計画および目標

2004～2005年度R I テーマ

「ロータリーを祝おう」

### 1. ご挨拶

当クラブは1996年に発足し、初代小林弘会長以来、9代に亘り、歴代の会長幹事のもと新たな目標と課題を掲げ、その実現に向けて邁進してきました。

以来“自由闊達”な雰囲気のもとクラブ運営が行われてきております。来年は結成10周年を迎え、大きな節目の年となることは間違いかりません。

エ斯特ス・シニアR I会長は、“ロータリーを祝おう”をテーマに掲げ、100年の歩みを振り返り、原点に戻ることを呼びかけています。

当2840地区の運営方針は、それに呼応して、「新たなる100年に向けて…基本にもどろう」のもと、その強調事項として、

- ① ロータリー100年の歩みを振り返り、新たなる活動を起こそう
- ② クラブの充実—原点に戻り、奉仕と親睦の実践を！

他数点を掲げました。

そこで、当クラブは計画の柱としてークラブの充実と活性化ーを掲げたいと思います。

### 2. 目標

上記計画の柱を具体化するため、次の目標を掲げます。

#### (1) クラブの充実として

##### ① 奉仕活動を充実させる

こども、青少年、障害者、老年者、あるいは地域で活動される諸団体を対象に、新たな継続的奉仕活動を検討し、実施すること。

##### ② 親睦活動を充実させる

親睦の内容を再検討し、より良い内容の活動を考察し、実施すること。

#### (2) 例会を活性化させる

活性化の対象は、クラブ全般に亘るものとは考えますが、今年度はそのなかで、特に“例会の活性化”を図っていくことを目標に掲げます。例会は毎回1時間という短いものですが、週1回、月4回、年間48回前後に亘り、累計すると大きな時間になります。多忙な毎日をおくるなか、職務に精励される会員の皆さんのが往復時間を含め2時間前後を要する例会に出席して“良かった、何か得るものがあった”と感じられる例会にするにはどの様にしたら良いのか。ゲスト卓話の充実、会員卓話のあり方の工夫、歌唱の件、その他S A A、プログラム等を中心に知恵を出し合って、検討してまいりたいと思います。

#### (3) 会員の減少をくいとめ、増加に持ち込むための方策を検討する

女性会員の新たな確保ー減少防止と増加の問題は、相互に深く関連しています。奉仕団体であるロータリークラブも時代背景の影響を強く受けることは当然です。時代の流れをみつめ、それに即応した方策を考える時期に来ていると思います。

#### (4) 地区ゴルフ大会を成功させるため、全会員で取り組む

当クラブは地区ゴルフ大会のホストクラブとして責任を負うことになりました。全員で取り組んでいくなかでクラブの活動そのものが“活性化”されることを充分に予想されることです。

#### (5) ロータリー財団、米山奨学への理解の推進

目標達成へ努力する。

目標達成が困難な時代に入りつつある様に思われますが、両制度の理解を進めるための行動を取る必要があります。

#### (6) 各委員会の会合をひんぱんに行い、委員同士の交流と親睦を図るとともに、事業の遂行に際しては新たな視点から取り組む。

高崎シンフォニーロータリークラブ  
会長 泉省平